


だいごう 第37号
 平成25年8月1日 発行
 (偶数月発行/年6回)

七色花

【発行者】
 中国・四国中国帰国者支援・交流センター
 社会福祉法人 広島県社会福祉協議会
 〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2
 TEL 082-250-0210
 FAX 082-254-2464
 E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

愛媛県社会見学会


6月8日(土)愛媛県の帰国者を対象に社会見学会を開催しました。広島市の平和記念公園と宮島を見学しました。原爆ドームの前で記念撮影をした際に、にこやかにピースサインをする3世の子どもたちに「ここは日本人にとって、とても悲しい場所。笑ったり、ふざけたりして写真を撮ることはいけない」と注意する1世の姿が印象に残りました。平和記念資料館では、罪のない子どもたちまでが原爆の犠牲になったことを深く知ることができました。帰国者たちは自分たちの体験とも重なる、もっと真剣に平和について考えなければならぬという思いが芽生えたようでした。



原爆ドームの前で記念撮影

岡山県異文化交流会


6月10日(月)岡山県の帰国者を対象に異文化交流会を開催しました。午前には料理作り、午後は介護予防体操を行いました。料理作りでは日本の家庭料理、肉じゃがを作った際に、帰国者から「よく口にしますが作り方が分からなくて困っていたけれど、今度孫に作ってやりたい」という声を聞きました。また、地域住民の中には本場の中華料理を習いたいと、帰国者から積極的に教わっている人もいました。帰国者と地域住民がお互いにとって有意義な交流会となったようです。



料理作りを通して会話がはずみました

中国・四国ブロック支援機関連絡会


7月5日(金)中国・四国ブロック内の中国帰国者担当職員を対象に中国帰国者支援機関連絡会を開催しました。厚生労働省から支援策についての説明の後、帰国者1世による体験発表がありました。その中で、発表者本人が次々と家族を失い孤児となった場面では、目に涙を浮かべながら真剣に耳を傾ける担当職員の姿が印象的でした。今年4月から担当されている人が多かったため、帰国者に対する理解を深め、改めて今後の支援に活かしていただきたいと思います。



厚生労働省の担当者から説明を受けている様子

高知県健康増進交流会・相談説明会

7月19日(金)高知県の帰国者を対象に救急法講習会とスポーツ吹矢大会を開催しました。救急法講習会では、講師が現役の救急隊員だったため、実際の搬送例を挙げながら説明してくださいました。また、人形を使った演習を何度も実践することができ、分かりやすく充実した内容でした。スポーツ吹矢大会では、昨年実施した際の講師と同じだったため、「久しぶり〜」「覚えてる〜」などの言葉が交わされ、和やかな大会となりました。足腰の悪い人も無理なく参加できたので、今後は他の地域でも開催できるよう計画したいと思います。



心肺蘇生の実践演習の様子

中四国地域の活動報告

山口県主催 中国残留邦人等支援に係る担当者会議

7月2日(火)山口県で中国残留邦人等支援に係る担当者会議が開催され、当センターの職員も出席しました。中国残留邦人の担当者は、日頃、帰国者と関わることがほとんどないようで、帰国者の悩みや不安などの声が届いていないようでした。今後は身近な地域での交流会実施や支援相談員設置をセンターから働きかけていきたいと思っております。

お知らせ

① **所沢定着促進センター出身者交流会**
 当センターでは、所沢定着促進センター出身者を優先とした交流会を計画しています。日本に帰国直後に過ごした懐かしい所沢センターを訪問してみませんか？
 日時：平成25年10月24日(木)～25日(金) (1泊2日)
 参加費：一人35,000円(ホテル代、朝食代を含みます。参加出発地によって異なります)
 内容：・所沢定着促進センター訪問(教職員や帰国者との交流会)
 ・東京都内見学(スカイツリー、浅草、国会議事堂等を予定しています)
 ※参加希望者はTEL(082)250-0210へご連絡ください。

② **ドラマ「基町アパート」の放送**
 中国帰国者の家族を題材としたドキュメンタリードラマがNHK総合テレビで放送されます。中国帰国者が集住する広島市中区基町の市営住宅で今年の7月に撮影されました。ぜひ、ごらんください！
 放送日：平成25年8月24日(土) 23:00～

③ **平成25年8月から支援給付の額が見直されます**
 物価の動向や年齢・世帯人数・地域差による影響の調整を行い、「生活費の基準」の見直しが8月に行われる予定です。
 支援給付を受けている人には、「生活費の基準」の見直しに基づいて、実施機関において、各人ごとに支援給付の額を算定したうえで、見直し後の支援給付の額のお知らせがある予定です。(くわしいことは支援給付の実施機関及び支援相談員におたずねください)

8月・9月の予定

8月1日・2日	ブロック支援者研修会	〔中四国〕	9月 未定	社会見学会	〔広島県〕
8月11日	異文化交流会	〔広島県〕	9月 未定	社会見学会	〔高知県〕
8月 未定	施設訪問	〔山口県〕	9月29日	避難所体験会	〔広島県〕

投稿募集

あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか？みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記

七夕は、元々中国の行事ですが日本に伝わったものです。日本では毎年7月7日に行っていますが、中国の七夕は旧暦の7月7日に行っています。ちなみに今年の七夕は8月14日だそうです。日本では短冊に願い事を書き、笹に飾るといふ風習がありますが、中国では乞巧奠(女子が手芸・裁縫などの上達を祈る)を行うことがよく知られています。みなさんは七夕をどのように過ごしましたか？ (金山)



【发行者】

中国·四国中国归国者支援·交流中心

社会福祉法人 广岛县社会福祉协议会

〒732-0816 广岛县南区比治山本町 12-2

TEL 082-250-0210

FAX 082-254-2464

E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

爱媛县社会观摩会



在原爆圆屋顶前摄影留念

6月8日(周六)以爱媛县归国者为对象举办了社会观摩会。这次和大家参观了广岛和平公园和宫岛。在原爆圆屋顶前,对满面笑容摆V手势摄影留念的年轻2代3代,在场的一位归国者1代不禁提醒道「这里对日本人而言,是非常令人悲伤的场所。不能抱着玩笑的态度在这里拍照!」,这一幕给人留下深刻的印象。在参观和平纪念资料馆时,当归国者看到无辜的孩子们也被卷入原爆牺牲的场面,不禁联想起自身的历史经验,相信通过这次学习,更进一步加深了大家对和平概念的认识。

冈山县异文化交流会

6月10日(周一)以冈山县归国者为对象举办了异文化交流会。上午大家一起制作了菜肴,下午进行了预防护理体操。这次大家学做的料理是日本家庭菜肴「土豆炖肉」,不少归国者都说「听说过这道菜,可是不知道怎么做,这次学会了,想回家给小孙子做着吃吃看」。此外,每年来参加这次活动的当地居民提出想学中国菜,为此有的归国者积极向日本朋友传授中国菜的做法。借此机会,加强了归国者与地区居民彼此的交流。



通过学做料理加强交流

中国·四国地区支援机关联系会



与会者认真听取厚生劳动省工作人员说明的情形

7月5日(周五)以中国·四国地区的中国归国者工作担当职员为对象举办了中国归国者支援机关联系会。首先,厚生劳动省的工作人员就支援政策进行了说明,其后由归国者1代介绍了自己的亲身体会。当归国者在谈到接踵失去自己亲人的场面时,有的与会者也不禁红了眼圈,大家认真聆听姿态给人留下了深刻的印象。不少担当职员都是今年的4月才开始接手这项工作,希望能通过这次会议,加强各位担当职员对中国归国者的理解,并对今后的工作起到一定参考作用。

高知县咨询说明会·促进健康交流会

7月19日(周五)以高知县归国者为对象举办了急救讲座和体育吹箭比赛。这次急救讲座的老师是高知市消防局的现役队员,通过实际抢救事例的说明,让与会者对急救法的重要性有了明确的认识。此外,还利用人体模型反复进行了实践,内容对与会者而言浅显易懂。下午进行了吹箭比赛,这次的老师和去年是同样的阵容,所以见了面后,相互畅谈了久违重逢的感受。比赛在一片友好的氛围中进行。这项活动即使腰腿不便的人也容易参加,因此计划今后在其他地区也开展这项活动。



心肺复苏实际演习的情形

中四国地区活动汇报 ~山口县主办 关于中国残留邦人等支援担当者会议~

7月2日(周二)由山口县厅举办了关于中国残留邦人等担当工作人员会议。本中心的职员也被邀请出席。有些中国残留邦人的担当职员由于日常和归国者少有接触,所以未能了解到归国者实际的困难和不安。就今后在归国者所在地区交流会的实施,以及支援相谈员的设置,中心还需要积极做好推动工作。

通知

①所泽定着促进中心结业者交流会

本中心计划实施访问所泽定着促进中心交流会,活动优先照顾所泽中心结业者。欢迎大家一起再访久别的所泽中心。

日期:平成25年10月24日(周五)~25日(周五)(2天1宿)

参加费:每人35,000日元(住宿费,包括早餐费,详细金额随出发场所不同多少有变动)

内容:·访问所泽定着促进中心(与以前的老师和老朋友进行交流)

·参观东京都内(计划参观天空树,浅草,国会议事堂等处)

※希望参加者请直接与中心电话联系 TEL(082)250-0210。

②电视剧『基町公寓』放送介绍

近期NHK电视台将放送以中国归国者为拍摄题材的纪实电视剧。这部电视剧是从今年7月开始在中国归国者集居地广岛市中区基町的市营公寓开始拍摄的,希望大家一起来观赏!

放送时间:平成25年8月24日(周六)23:00~

③平成25年8月开始对支援给付金额进行调整

伴随物价的变动以及年龄·家属人口·地区级差等因素的影响,国家将从8月开始对「生活费的基准」进行调整。

对现在正在接受支援给付的人,政府会根据「生活费的基准」的调整结果,对各位的支援给付金额重新估算,并将调整后的金额结果通知到各家。(详细内容请直接向支援给付负责处或当地支援相谈员咨询。)

8月·9月预定

8月1日·2日	地区支援者研修会	〔中四国〕	9月未定	社会观摩会	〔广岛县〕
8月11日	异文化交流会	〔广岛县〕	9月未定	社会观摩会	〔高知县〕
8月未定	设施访问	〔山口县〕	9月29日	避难所体验会	〔广岛县〕

征集投稿

您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?在此向大家征集稿件,内容不限,可以是日常生活琐事,也可以是追忆往昔,或者是介绍专项所长。原稿的字数限400字以内,投稿可直接送到中心,通过邮寄、传真亦可。

期盼大家积极踊跃的投稿!

编辑后记

七夕原本由来自于中国,其后传到日本。日本的七夕是在每年公历的7月7日进行。中国的七夕则是按照农历来实施的,今年的七夕是公历的8月14日。日本的风俗习惯是当天将写好许愿内容的卡片挂在竹枝上,而在中国,每逢七夕会在月下穿针乞巧(祈望女孩子会成为缝衣的巧手)。不知大家的七夕节是如何度过的呢? (金山)